

言語聴覚士学科 実務家教員リスト

担当科目名	時間数	単位数	担当教員氏名	略歴(関連資格・専門領域等・その他)
解剖学	15	1	左 明	医科大学卒業後(医学学士)、医科高等専門学校で教員として9年間勤務、統計学や栄養学などの科目を担当 2000年、神戸大学医学研究科で医学博士号を取得 2003年から受託研究員として、大阪大学歯学研究科に3年間在籍、コメディカルの解剖教育に役立つ教育方法の確立 医療系専門学校専任講師として、解剖学・解剖生理学を担当して20年目 日本解剖学会会員 「早わかり解剖学ハンドブック」など医学の専門書を6冊ほど監修や執筆(単著・共著)
生理学	30	1	松井 豊子	臨床検査技師として総合病院などで各種臨床検査業務を30年以上従事。 現在脳神経内科所属の臨床検査技師として従事。超音波検査士資格所持。臨床神経生理学会員。
病理学	15	1	北野 富美雄	総合病院に25年間、薬剤師として勤務。 ①院内処方箋による外来調剤(外来患者)、入院調剤(入院患者) ②服薬指導(入院・外来患者に対して薬の用法、用量の説明、副作用チェック、医師への報告など) ③薬品の品質管理(麻薬、劇薬、毒薬 冷暗所保存薬 普通薬について厳格な管理) ④他職種(医師・看護師・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士)に対しての薬品情報 ⑤新薬臨床試験・研究(医薬品臨床試験実施基準に従い、新薬の効果、副作用の調査、審査)
内科学	30	1	北野 富美雄	総合病院に25年間、薬剤師として勤務。 ①院内処方箋による外来調剤(外来患者)、入院調剤(入院患者) ②服薬指導(入院・外来患者に対して薬の用法、用量の説明、副作用チェック、医師への報告など) ③薬品の品質管理(麻薬、劇薬、毒薬 冷暗所保存薬 普通薬について厳格な管理) ④他職種(医師・看護師・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士)に対しての薬品情報 ⑤新薬臨床試験・研究(医薬品臨床試験実施基準に従い、新薬の効果、副作用の調査、審査)
小児科学	30	1	八代 理恵	慶応義塾大学病院小児科に看護師として10年間勤務、看護専門学校での講師経験あり。
精神医学	15	1	林 亜遊	作業療法士として精神科病院に5年間勤務。統合失調症や気分障害患者の精神科リハビリテーションに従事。地域における作業療法を10年以上にわたって実践。 認定作業療法士・教育修士(専門職)・認定医学教育専門家 日本作業療法士協会・世界作業療法連盟・日本医学教育学会・日本作業療法教育学会会員
リハビリテーション医学	30	1	小里 英明	これまで急性期、維持機、在宅におけるリハビリテーションに従事。対象疾患は、主に整形外科の術後患者、脳血管疾患、神経筋疾患、呼吸器疾患、循環器疾患等担当。現在は医療療養病床を担う病院で勤務。日本呼吸療法士資格所持。
耳鼻咽喉科学	30	1	四宮 弘隆	2006年4月より医師として勤務し、2008年より耳鼻咽喉科医として臨床業務に従事している。 現在は神戸大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科で音声、頭頸部癌の領域を専門に診療に従事している 耳鼻咽喉科専門医・指導医、頭頸部癌専門医・指導医
臨床神経学	30	1	加藤 美樹	作業療法士として大学病院にて中枢神経疾患を中心に5年間リハビリテーションに従事し、特に脳機能における研究、学会発表をおこなってきた。 その後、身体障害福祉センター、介護老人保健施設にて10年間多くの中枢神経疾患のリハビリテーションに従事してきた。 大阪医療福祉専門学校にて高次脳機能障害学、国家試験対策として神経解剖、機能障害についての講義を14年間経験してきた。
形成外科学	15	1	田中 晋	大学教員歴 15年 関連資格:(社)日本口腔外科学会専門医・指導医 国際口腔顎顔面外科専門医(BCSOMS) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
臨床歯科・口腔外科学	30	1	濱田 雅弘	大阪大学歯学部附属病院にて研修医、大学院として3年実務経験。歯科医師免許取得。日本老年歯科医学会会員、日本障害者歯科学会会員、日本睡眠歯科学会会員。言語、嚥下、睡眠を含めた顎口腔機能分野を専門とする。
呼吸・発声・発語系の構造・機能・病態	30	1	柿本 明日香	言語聴覚士として音声障害専門外来(ボイスセンター)で5年勤務。その後、大学病院において耳鼻科領域(頭頸部癌後)等、リハビリテーション全般に従事。日本言語聴覚士協会会員。
聴覚系の構造・機能・病態	30	1	鎌倉 武史	耳鼻咽喉科医師として1年間大阪大学医学部附属病院、大阪労災病院、大手前病院などで勤務。2014年には内耳研究にて学位を取得し、2015年からの2年間Massachusetts Eye and Ear Infirmary/Harvard Medical SchoolにResearch fellowとして側頭骨病理学の研究に携わった。中内耳研究、難聴治療、耳科手術を専門としている。耳科手術は今までに300例以上の経験がある。 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、指導医 / 日本耳科学会会員、側頭骨組織病理ワーキンググループ委員/Association for Research in Otolaryngology会員 / Schuknecht Society会員/日本聴覚医学会会員 / 日本めまい平衡医学会会員 / 日本小児耳鼻咽喉科学会会員 / 耳鼻咽喉科臨床学会会員 / 日本メディカルイラストレーション学会会員 / 日本人類遺伝学会会員
神経系の構造・機能・病態	30	1	加藤 美樹	作業療法士として大学病院にて中枢神経疾患を中心に5年間リハビリテーションに従事し、特に脳機能における研究、学会発表をおこなってきた。 その後、身体障害福祉センター、介護老人保健施設にて10年間多くの中枢神経疾患のリハビリテーションに従事してきた。 大阪医療福祉専門学校にて高次脳機能障害学、国家試験対策として神経解剖、機能障害についての講義を14年間経験してきた。
心理測定法Ⅰ	15	1	春名 帝亮	特別養護老人ホームにて、臨床心理士として心理検査やカウンセリングの業務を中心に3年従事した。 また、大学病院の医局研究員として、心理統計・解析の業務に1年勤務している。 並行して、心療内科・精神科のクリニックにてカウンセリングや心理検査の業務を中心に半年勤務している。 臨床心理士資格所持。日本心理臨床学会、日本基礎心理学会に所属している。
心理測定法Ⅱ	15	1	春名 帝亮	特別養護老人ホームにて、臨床心理士として心理検査やカウンセリングの業務を中心に3年従事した。 また、大学病院の医局研究員として、心理統計・解析の業務に1年勤務している。 並行して、心療内科・精神科のクリニックにてカウンセリングや心理検査の業務を中心に半年勤務している。 臨床心理士資格所持。日本心理臨床学会、日本基礎心理学会に所属している。
臨床心理学Ⅰ	30	1	武藤 翔太	大規模単科精神科病院、大学付属の心理臨床センターなどで臨床心理士として器質性疾患も含め児童～後期高齢者、神経症圏～精神病圏まで幅広く心理療法(個別/集団)・心理アセスメントなどの心理臨床業務、家族教室などの患者家族への支援、多職種へのコンサルテーション業務/協働的アプローチなどに従事。その他、心理職ではないも公立小学校の特別支援員としての勤務歴もあり。 担当ケース以上の業務すべてで500ケース以上担当。現在は大学院で臨床心理士・公認心理師養成校の実習担当教員として勤務しながら精神科クリニックにて臨床心理士・公認心理師として非常勤勤務をしている。日本精神神経学会、日本心理臨床学会、日本芸術療法学会、日本描画テスト・描画療法学会に所属。

臨床心理学Ⅱ	30	1	武藤 翔太	大規模単科精神科病院、大学付属の心理臨床センターなどで臨床心理士として器質性疾患も含め児童～後期高齢者、神経症圏～精神病圏まで幅広く心理療法(個別/集団)・心理アセスメントなどの心理臨床業務、家族教室などの患者家族への支援、多職種へのコンサルテーション業務/協働的アプローチなどに従事。その他、心理職ではないも公立小学校の特別支援員としての勤務歴もあり。 担当ケースは以上の業務すべてで500ケース以上担当。現在は大学院で臨床心理士・公認心理師養成校の実習担当教員として勤務しながら精神科クリニックにて臨床心理士・公認心理師として非常勤勤務をしている。日本精神神経学会、日本心理臨床学会、日本芸術療法学会、日本描画テスト・描画療法学会に所属。
生涯発達心理学Ⅰ	30	1	河上 実樹	公認心理師として児童福祉施設(放課後等デイサービス)に2年勤務した。4～18歳の障害児を対象にソーシャルスキルトレーニング(SST)や学習支援、支援計画作成を担当した。 研究活動は発達心理学を専門とし、高齢者の注意機能についての研究を行っている。 日本心理学会、発達心理学会、日本老年行動科学会に所属している。
生涯発達心理学Ⅱ	30	1	河上 実樹	公認心理師として児童福祉施設(放課後等デイサービス)に2年勤務した。4～18歳の障害児を対象にソーシャルスキルトレーニング(SST)や学習支援、支援計画作成を担当した。 研究活動は発達心理学を専門とし、高齢者の注意機能についての研究を行っている。 日本心理学会、発達心理学会、日本老年行動科学会に所属している。
学習認知心理学	30	1	春名 帝亮	特別養護老人ホームにて、臨床心理士として心理検査やカウンセリングの業務を中心に3年従事した。 また、大学病院の医局研究員として、心理統計・解析の業務に1年勤務している。 並行して、心療内科・精神科のクリニックにてカウンセリングや心理検査の業務を中心に半年勤務している。 臨床心理士資格所持。日本心理臨床学会、日本基礎心理学会に所属している。
言語学Ⅰ	30	1	古田 功士	大学、大学院にて言語学や音声学などを学ぶ(文学修士)。言語聴覚士として成人の言語障害などについて急性期から維持期に至るまで10年以上の経験を持つ。また臨床と共に日本言語聴覚学会で研究発表や音声言語についての勉学を続けており、本校以外にも言語聴覚士養成校や大学にて非常勤講師として言語学、音声学、音響学など音声言語についての講義を5年以上担当。京都・滋賀にて臨床のSTさん向けの勉強会『臨床の学び舎 おんせいげんご』(https://onseigen-go.jimdosite.com/)を主催の一人として定期開催。